

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

対 象 1 年 4 組 3 6 人
指 導 者 教 諭 山 口 隼 人

1 内容および題材名 C 消費生活・環境「自立した消費者になるために」

2 本校技術・家庭科の目標と本題材で育む資質・能力とのつながり

知識及び技能	生活と技術についての問題を解決するための知識・技能を身に付けるようにする。
思考力, 判断力, 表現力等	知識及び技能を活用して, 生活や社会の問題の最適な解決策を追究するための力を養う。
学びに向かう力, 人間性等	よりよい生活や技術に係る未来を支えるために, 主体的に問題を解決しようとする実践的な態度を養う。

本題材において、「知識及び技能」では、購入方法や支払い方法の特徴を知らせ、計画的な金銭管理の必要性について理解させるとともに、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について知らせ、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできるようにすることがねらいである。これらの知識及び技能を身に付けることが、消費者としての生活における問題を解決することにつながると考える。

また、「思考力, 判断力, 表現力等」では、物資・サービスの選択に必要な情報を活用させて購入について考えさせ、工夫することができるようにする。そのことにより、知識及び技能を活用して、商品のよりよい選択・購入のために必要な工夫を考える力が、生活や社会の問題の最適な解決策を追究するための力を養うことにつながると考える。

最後に、「学びに向かう力, 人間性等」では、自分や家族の消費生活について関心をもたせ、消費生活をよりよくしようとする実践的な態度を養う。そのことにより、消費生活に関心をもち、よりよく実践しようとする態度を養うことが、生活や技術に係る未来を支えるために、主体的に問題を解決しようとする実践的な態度を養うことにつながると考える。

以上のことを踏まえることで、本校技術・家庭科の教育目標の達成に迫ることで、学校教育目標の達成につながると考える。

3 題材設定の理由

現代において、消費者を取り巻く環境は、高齢化の進行、高度情報通信社会の進展、消費生活におけるグローバル化の進展など、急速に変化している。それに伴い、消費者トラブルや消費者被害の内容等も変化している。また、最近では、物資・サービスの多様化・複雑化を背景に、依然として、消費者と事業者との間には、情報の質や量の格差も生じている。更に、青年年齢の引き下げ等も踏まえると、契約に関する基本的な考え方や契約に伴う責任、消費者市民社会の形成に参画することの重要性の理解や、社会において消費者として主体的に判断し、責任をもって行動できるような能力を身に付けることが極めて重要である。

ここでは、金銭の管理と購入について、課題をもって、計画的な金銭管理の必要性について理解し、購入方法や支払方法の特徴、売買契約の仕組み、焼死者被害の背景とその対応及び物資・サービスの選択に関する基

礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について工夫することができるようにすることをねらいとしている。

生徒は、小学校の学習において、「物や金銭の使い方と買物」を学習している。物や金銭の使い方と買物について、課題をもって、物や金銭の大切さについて理解し、買物の仕組みや消費者の役割、物や金銭の計画的な使い方、身近な物の選び方、買い方、情報の収集・整理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、身近な物の選び方、買い方を工夫することができるように学習している。日常の生活においても、商品選択の場面で、大量の情報から購入目的に応じた情報を読み取り、判断する力が必要である。しかし、実際には、手間や時間をかけて商品を検討し、選択する機会には乏しい。また、自身に関する商品購入の経験は多いが、他者や家族を意識した選択、購入の機会も少ない。商品を選択する目的に応じて、他者の立場を思いやり、幅広い視点の中から必要な情報を収集し、活用する力が必要である。

指導に当たっては、小学校の学習内容との体系化を図り、生徒が実生活での実践を意識しながら、具体的に理解できるように工夫した。これから予想される生活の中での実用性のあるリアルな課題設定を用い、主体的に思考・吟味する活動を充実させ、新たな価値を見付け、生み出させる工夫を行う。また題材を貫いて問題解決的な学習となるよう、題材の前半部分では知識及び技能を習得する活動を取り入れる。題材の後半部分では、そこで習得した知識及び技能を活用し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせながら、よりよい生活を支えるために、課題解決に向けてより深い学びを実現できるよう題材内の配列にも工夫を行う。更に、そこでの学びを振り返る中で、新たな課題に主体的に取り組む態度を養えるよう指導したい。

以上のことから、実践的・体験的な学習活動を充実させながら、未来の自分たちの生活や社会を支えるために、習得した知識及び技能を活用し、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育成できるよう本題材を設定した。

4 題材の指導目標

(1) 知識及び技能

購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解を図ると共に、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力等

物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。

(3) 学びに向かう力、人間性等

よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする態度を養う。

5 題材の評価規準と指導計画（「C 消費生活・環境」金銭の管理と購入 全7時間）

(1) 評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要背について理解している。</p> <p>・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p> <p>・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。</p>	<p>物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

(2) 指導計画

小題材	時間	指導内容	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分や家族の消費生活	1	消費者としての自覚をもたせるとともに、消費生活の仕組みを理解させるとともに、商品購入のプロセスを理解させる。	①計画的な金銭管理の必要性について理解している。 【ワークシート】	①物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 【ワークシート】	①金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 【すっどカード】
	2	物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理を適切にできるようにする。	②物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解していると共に、収集・整理が適切にできる。 【ワークシート】	②物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について考え、工夫している。 【ワークシート】	
物資・サービスの選択・購入	3	購入方法や支払い方法の特徴について理解させる。	③購入方法や支払い方法の特徴について理解している。		

	4	販売方法や支払方法の特徴を理解させるとともに、三者間契約の利点と問題点について理解させる。	④売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。 【ワークシート】	③物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について、実践を評価したり、改善したりしている。 【ワークシート】	②金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 【すっどカード】
消費者としての責任ある消費行動	5	消費生活におけるトラブルの内容や、その予防方法、対処方法を理解させる。	⑤消費者の基本的な権利と責任について理解している。 【ワークシート】		
	6	自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解させる。	⑥自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。 【ワークシート】	④物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けて、考察したことを論理的に表現している。 【行動観察】 【ワークシート】	③よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し創造し、実践しようとしている。 【すっどカード】 【行動観察】
	7	よりよい消費生活に関心をもたせ、目的に応じた商品の選択・購入を行うための工夫を考えさせる。			

6 本時の実際

(1) 主 題 情報を活用した購入

(2) 指導目標

よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について工夫し創造させるとともに、実践しようとする態度を養う。

(3) 目標行動

物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けて、考察したことを論理的に表現するとともに、よりよい消費生活の実現に向けて、よりよい解決策を追究したり、実践したりすることができる。

(4) 評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準		物資・サービスの選択・購入，自立した消費者としての消費行動についての課題解決に向けて，考察したことを論理的に表現している。	よりよい消費生活の実現に向けて，金銭の管理と購入，消費者の権利と責任について工夫し創造し，実践しようとしている。
すべき生徒の姿 おおむね達成		目的に応じて情報を適切に整理・収集するとともに，購入方法や支払い方法等の特徴を踏まえながら，よりよい選択・購入の方法を根拠を示しながら説明したり，発表したりしている。	自分の生活と関連付けながら，解決策を練り直すとともに，考えた結果について，振り返りながら，よりよい解決策を追究したり，実践しようとしたりしている。

(5) 授業設計の視点

ア 「価値を見付け・生み出す活動」を充実させる指導の工夫

(これから予想される生活の中で実用性のあるリアルな課題設定)

(各分野の見方・考え方を視点にした記述の工夫)

「価値を見付け・生み出す活動」を充実させる指導の工夫として，具体的に「洗濯機を購入するための最適な購入計画を立てるにはどうすればよいただろうか。」という課題を設定した。これからの生徒の生活において実際に起きうるであろうリアルな課題を用いることにより，主体的に思考・吟味する活動の充実を図り，新たな価値を見付け・生み出すことにつながるよう工夫した。更に，課題解決場面において，根拠，理由付け，主張を用いた記述に加えて，教科特有の「見方・考え方」を働かせた記述を行うよう工夫した。キーワードを明確にして記述できるように題材を通して繰り返し，味方・考え方を働かせる場面を設定することにより，今までにない価値を見付け・生み出す活動が充実するよう工夫した。

イ 根拠をもとに理由付けを明確にした主張を展開する記述の工夫

販売方法や支払い方法の特徴を踏まえた上で，各洗濯機の機能等を資料から読み取り，購入者のニーズ等の聞き取りを行い，それらの情報をワークシートに整理させた後に，どのように洗濯機を購入すべきかの主張を行わせるよう工夫した。根拠を焦点化させた上で，知識や経験から理由付けして主張させることで，読み解き・対話する活動の充実を図れるよう工夫した。

ウ 知識・技能を活用するための題材指導計画の工夫

題材を貫いて，問題解決的な学習になるよう題材指導計画の工夫を行った。具体的には題材の序盤から中盤にかけて「知識及び技能」を習得する学習活動を充実させた。そして，題材の終盤において，それまでに獲得した「知識及び技能」や経験を活用し，「思考力・判断力・表現力等」を働かせる学習活動を位置付けた。「知識及び技能」が生活に応用・発展できる場を設定することで，資質・能力を高められるよう工夫した。

(6) 学習過程

過程	学習の流れ	時間	学習活動	指導上の留意点	教材・教具		
導入	1	8	1 これまでの消費行動を振り返る。	1 これまでの消費行動を振り返らせ、選択のための意思決定に必要な観点を振り返らせる。	1 すっどカード		
	2		2 具体的な場面から、問題をほりおこす。	2 具体的な場面を想起させ、問題を発見させ、本時の課題設定へと繋げさせる。	2 P C , T V		
	(5)ーア 今の生活、これから予想される生活の中で実用性のあるリアルな課題設定						
	3		3 考えたことを発表する。	4 自身に関する選択・購入の場面と家族や他者に関わる選択・購入の場面では、問題が異なることを意識させる。	5 ワークシート		
	4		補	家族で使うものを購入するための最適な購入計画を立てるにはどうすればよいだろうか。			
	5		5 学習課題を設定する。	5 生徒の言葉から課題を設定させる。	6 ワークシート		
	6		6 学習課題をワークシートに記入する。	6 学習課題を板書し、読ませる。	7 ワークシート		
	7		7 学習課題を設定できない生徒には、補足説明を行う。	8 P C , T V 資料			
	8		8 目的と条件を確認する。	8 商品の選択において必要な目的や条件を確認し、選択・購入のための意思決定に必要な既習内容を振り返らせる。	9 ワークシート カタログ等		
	9		9 個人で最適な購入計画を検討する。	9 目的に合っているか、結果に対する満足度は高そうか、既習事項や自分の生活と関連付けて考えさせる。	(5)ーイ 根拠をもとに理由付けを明確にした主張を展開する記述の工夫		
展開	10	30	10 気づきを発表し、全体で共有する。	11 消費者の責任を意識させながら、検討した計画を批判的な意識で捉え直すように促す。	12 ワークシート		
	11		補	12 購入計画をグループで共有し、意見交換により吟味、再検討する。	12 多様な情報源から、偏りなく情報を収集させ、購入目的に応じた視点で適切に整理・比較検討させ、実践に向けた具体的な計画を立てさせる。	13 シェアボード	
	(5)ーイ 根拠をもとに理由付けを明確にした主張を展開する記述の工夫						
	12		12 購入計画の再考	13 根拠をもとに理由付けを明確にした主張を行わせ、多面的な視点で吟味させ、最適な解決方法を練り上げさせる。	14 P C , T V		
	13		13 わかったか	14 補	14 5年後の生活に視点を向けさせ、購入計画の検討を行う上で、時間の流れに対する視点の重要性に気付かせる。	15 ワークシート	
	14		14 わかったか	15 グループでの意見交換をもとに、個でよりよい解決策を練り直す。	15 根拠となる価値観をもって、よりよい購入計画を考えることの重要性に気付かせる。	16 ワークシート	
	15		15 個人での再検討	16 ワークシートに記入する。	16 学びを踏まえて、教科特有の「見方・考え方」をはたらかせて記入させる。	(5)ーア 各分野の見方・考え方を視点にした記述の工夫	
	16		16 できたか	17 補	17 多面的な視点によって練り上げられた購入計画を紹介し、生徒の気づきを深めさせる。	18 ワークシート	
	17		17 できたか	18 本時のまとめを行い、最適な購入計画を検討する上で必要なことを確認する。	18 実際に洗濯機の購入を検討している人物(学級担任)に本時の取組から考えられた購入計画に対する意見を紹介し、リアルな問題として捉え直すとともに、選択・購入における視点に広がりをもたせる。	【まとめ】 必要な情報を、目的・条件に応じて整理し、時間の流れを踏まえた上で比較検討し、購入方法、支払方法について工夫して、購入計画を立てればよい。	
	終末		18	10	18 本時のまとめを行い、最適な購入計画を検討する上で必要なことを確認する。	18 実際に洗濯機の購入を検討している人物(学級担任)に本時の取組から考えられた購入計画に対する意見を紹介し、リアルな問題として捉え直すとともに、選択・購入における視点に広がりをもたせる。	19 すっどカード
19		19 自己評価を行う。	19 本時の学習を踏まえ、自身の消費行動を振り返り、今後の実践化や主体的に学ぼうとする姿勢を促す。		19 すっどカード		